

平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ケイブ

コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 雅仁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 山家 英雄

TEL 03-5366-3116

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	1,303	△11.9	△21	—	△29	—	△74	—
23年5月期第2四半期	1,480	26.0	258	—	253	—	191	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	△3,498.94	—
23年5月期第2四半期	9,337.08	9,259.61

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	2,064	1,530	73.5
23年5月期	2,177	1,423	65.0

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 1,517百万円 23年5月期 1,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△8.4	50	△40.6	40	△41.4	10	△97.7	465.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期2Q	22,215 株	23年5月期	21,027 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年5月期2Q	470 株	23年5月期	470 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期2Q	21,198 株	23年5月期2Q	20,557 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年1月13日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興に伴う回復基調が高まったものの、タイの大洪水による被害や、欧州の金融危機や世界経済の減速懸念、円高株安が依然として進行するなど先行き不透明な状況が継続しております。

当社の属するオンラインエンターテインメント市場におきましては、携帯電話、PCによるブロードバンド接続の普及が引き続き進んでおり、特にスマートフォン（高性能携帯電話）においては、2012年度に携帯電話販売台数の5割（約4,000万台）に達すると予測（注1）されるなど新たな潮流となっております。

また、家庭用ゲーム市場が停滞する一方、当社が主に属するSNS（ソーシャルネットワークサービス）を中心とするソーシャルゲーム市場においては、国内の市場規模が2010年の1,820億円から2011年には2,188億円に拡大すると予測（注2）されており、ゲーム市場における構造変化が顕著となっております。

このような環境のもと、当社におきましては、国内最大級のソーシャルネットワークサービスを運営するグリー株式会社と資本・業務提携を行い、一層の事業推進体制を構築するとともに、スマートフォン対応アプリや海外市場を視野に入れたアプリの研究開発と開発体制の強化を積極的に行ってまいりました。

しかしながら、新規アプリの研究開発費の増大やコンシューマー事業における家庭用ゲームソフトの販売低迷等により、当第2四半期累計期間の業績においては、売上高1,303百万円（前年同期比11.9%減）、営業損失21百万円（前年同期は258百万円の営業利益）、経常損失29百万円（前年同期は253百万円の経常利益）、四半期純損失74百万円（前年同期は191百万円の四半期純利益）となりました。

（注1、2）株式会社シード・プランニングによる予想

セグメントにつきましては、従来「ソーシャルメディア・アプリ事業」「インフォメーションプロバイダー事業」「オンライン事業」「ゲーム開発事業」の4報告セグメントに分類して開示しておりましたが、第1四半期会計期間に事業の集約化、経営の効率化を目的とした組織変更が行われたため、報告セグメントを「インタラクティブ事業」「コンシューマー事業」「ライセンス&イベント事業」に変更しております。

以下に記載のセグメント業績の前年同期比は、変更後のセグメント区分で組み替えた前年同期実績を基に算出しております。

各セグメントの概況は、以下のとおりです。

《インタラクティブ事業》

インタラクティブ事業におきましては、グリー株式会社のGREE、株式会社ディー・エヌ・エーのMobage（モバゲー）に提供しておりますSNS向けソーシャルゲームの「しろつく」やオンラインゲーム「真・女神転生IMAGINE」等の既存コンテンツの底上げを図るとともに、新たなソーシャルゲームとして、「くにつく」「もんすたあチルドレン」をGREEに、「しろつく大戦」をNHN Japan株式会社のハンゲームにおいてサービスを立ち上げてまいりました。

また、下期以降の新たな収益の確保を図るために、新しいコンテンツの研究開発に注力してまいりました。

以上の結果、当事業における売上高は1,196百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント利益は241百万円（前年同期比37.4%減）となりました。

《コンシューマー事業》

コンシューマー事業におきましては、当社初のアドベンチャーゲーム「INSTANT BRAIN」をリリースいたしましたものの、市場環境の停滞に起因する販売店の買い控えなどの影響により販売が低迷いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は50百万円（前年同期比63.5%減）、セグメント損失は56百万円（前年同期は69百万円のセグメント利益）となりました。

《ライセンス&イベント事業》

ライセンス&イベント事業におきましては、当社ソーシャルゲーム「しろつく」や「北斗の拳百万の救世主伝説」と連動したコレクションカード「しろつくコレクションカード第二弾」「北斗の拳 百万の救世主伝説リアルコレクションカード第0弾」を全国区にて展開するなど、新たな収益源として販路の拡大やノウハウの蓄積を先行して行ってまいりましたが、収益確保には至りませんでした。

以上の結果、当事業における売上高は56百万円（前年同期比16.7%増）、セグメント損失は26百万円（前年同期は8百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べて112百万円減少し2,064百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金67百万円、現金及び預金84百万円、仕掛品19百万円の減少等により、流動資産が197百万円減少したことと、ソフトウェア仮勘定66百万円の増加等により、固定資産が85百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて219百万円減少し534百万円となりました。これは、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）189百万円、未払費用15百万円等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて106百万円増加し1,530百万円となりました。これは、主に利益剰余金74百万円の減少、第三者割当増資により資本金88百万円、資本剰余金88百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,150百万円となりました。

当第2四半期累計期間末における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、90百万円(前年同四半期累計期間は352百万円の増加)となりました。これは、売上債権の回収による71百万円の増加等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、162百万円(前年同四半期累計期間は49百万円の減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出116百万円、投資有価証券の取得による支出39百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、12百万円(前年同四半期累計期間は82百万円の増加)となりました。これは株式の発行による収入176百万円、長期借入金の返済による支出189百万円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期業績予想については、平成24年1月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、9,249円79銭です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,234,592	1,150,439
受取手形及び売掛金	400,459	333,405
商品及び製品	34,320	34,601
仕掛品	21,696	2,235
原材料及び貯蔵品	1,221	1,123
前渡金	1,050	5,135
前払費用	19,167	20,498
未収入金	268,545	235,706
その他	886	145
貸倒引当金	△55,560	△54,905
流動資産合計	1,926,380	1,728,386
固定資産		
有形固定資産		
建物	55,273	56,184
減価償却累計額	△28,423	△30,418
建物(純額)	26,849	25,765
工具、器具及び備品	195,916	193,218
減価償却累計額	△169,109	△168,471
工具、器具及び備品(純額)	26,807	24,746
有形固定資産合計	53,657	50,512
無形固定資産		
商標権	3,576	4,615
ソフトウェア	71,532	53,349
ソフトウェア仮勘定	22,746	89,196
その他	630	630
無形固定資産合計	98,485	147,792
投資その他の資産		
投資有価証券	20,169	60,069
関係会社株式	7,804	7,804
出資金	836	836
敷金	67,936	66,656
差入保証金	1,930	2,830
投資その他の資産合計	98,676	138,195
固定資産合計	250,819	336,501
資産合計	2,177,199	2,064,887

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,154	4,150
1年内返済予定の長期借入金	290,964	183,364
未払金	85,499	102,197
未払費用	106,926	91,293
未払法人税等	6,199	5,287
未払消費税等	31,297	898
前受金	49,906	56,289
預り金	7,628	6,578
未払配当金	2,060	994
流動負債合計	588,638	451,053
固定負債		
長期借入金	165,154	83,522
固定負債合計	165,154	83,522
負債合計	753,792	534,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,527	874,251
資本剰余金		
資本準備金	729,167	817,890
資本剰余金	729,167	817,890
利益剰余金		
利益準備金	870	870
その他利益剰余金		
別途積立金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	△63,587	△137,757
利益剰余金	△52,717	△126,887
自己株式	△46,876	△46,876
株主資本合計	1,415,099	1,518,376
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△299	△380
評価・換算差額等合計	△299	△380
新株予約権	8,607	12,316
純資産合計	1,423,407	1,530,312
負債純資産合計	2,177,199	2,064,887

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	1,480,510	1,303,600
売上原価	557,985	576,112
売上総利益	922,524	727,488
販売費及び一般管理費		
回収費	275,054	282,568
貸倒引当金繰入額	6,398	2,845
広告宣伝費及び販売促進費	72,581	59,462
役員報酬	47,290	44,610
給料及び手当	44,745	70,403
研究開発費	85,820	136,118
地代家賃	11,223	13,069
運賃	632	550
支払手数料	21,330	14,462
その他	99,275	125,025
販売費及び一般管理費合計	664,352	749,115
営業利益又は営業損失(△)	258,172	△21,626
営業外収益		
受取利息	83	100
業務受託手数料	360	360
受取手数料	—	1,622
その他	1,790	1,212
営業外収益合計	2,234	3,295
営業外費用		
支払利息	6,880	3,429
為替差損	116	—
株式交付費	—	7,347
その他	—	92
営業外費用合計	6,996	10,869
経常利益又は経常損失(△)	253,410	△29,199
特別利益		
関係会社株式売却益	1,500	—
特別利益合計	1,500	—
特別損失		
固定資産除却損	8,464	—
事業整理損	9,215	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,050	—
減損損失	—	43,620
特別損失合計	28,730	43,620
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	226,180	△72,820
法人税、住民税及び事業税	34,237	1,350
法人税等合計	34,237	1,350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	191,942	△74,170

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	226,180	△72,820
減価償却費	29,982	30,765
株式報酬費用	1,265	3,804
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,697	△654
受取利息及び受取配当金	△83	△100
支払利息	6,880	3,429
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,500	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,050	—
固定資産除却損	8,464	—
減損損失	—	43,620
売上債権の増減額(△は増加)	87,406	71,956
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,373	19,278
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,807	△4,003
未払金の増減額(△は減少)	3,716	15,068
未払費用の増減額(△は減少)	△28,492	△15,633
未払消費税等の増減額(△は減少)	18,282	△30,399
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	3,639	437
その他の資産の増減額(△は増加)	27,122	30,968
その他の負債の増減額(△は減少)	7,289	374
小計	360,719	96,089
利息及び配当金の受取額	83	100
利息の支払額	△6,798	△2,915
法人税等の支払額	△1,350	△2,700
営業活動によるキャッシュ・フロー	352,654	90,574
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101	△5,212
無形固定資産の取得による支出	△44,204	△116,630
関係会社株式の売却による収入	16,500	—
投資有価証券の取得による支出	△19,990	△39,980
差入保証金の差入による支出	△1,800	△900
その他の収入	20	—
その他の支出	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,585	△162,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△217,050	△189,232
配当金の支払額	△192	△124
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	822
株式の発行による収入	—	176,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	82,757	△12,005
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	385,826	△84,152
現金及び現金同等物の期首残高	794,511	1,234,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,180,337	1,150,439

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソーシャル メディア・ アプリ事業	インフォ メーション プロバイダ ー事業	オンライン 事業	ゲーム開発 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	495,544	292,337	486,737	205,891	1,480,510	—	—	1,480,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	495,544	292,337	486,737	205,891	1,480,510	—	—	1,480,510
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	160,131	115,874	109,801	79,229	465,036	△16,165	△190,698	258,172

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発に係る研究開発費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△190,372千円は、主に管理部門に係る人件費および経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	インタラク ティブ事業	コンシュー マー事業	ライツ& イベント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,196,542	50,728	56,330	1,303,600	—	1,303,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,196,542	50,728	56,330	1,303,600	—	1,303,600
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	241,900	△56,837	△26,964	158,098	△179,725	△21,626

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△179,725千円は、主に管理部門に係る人件費および経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来「ソーシャルメディア・アプリ事業」「インフォメーションプロバイダー事業」「オンライン事業」「ゲーム開発事業」の4報告セグメントに分類して開示しておりましたが、第1四半期会計期間に事業の集約化、経営の効率化を目的とした組織変更が行われたため、報告セグメントを「インタラクティブ事業」「コンシューマー事業」「ライセンス&イベント事業」に変更しております。

変更後の事業区分による前第2四半期累計期間のセグメント情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	インタラク ティブ事業	コンシュー マー事業	ライセンス & イベント事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,273,871	138,983	67,654	1,480,510	—	—	1,480,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,273,871	138,983	67,654	1,480,510	—	—	1,480,510
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	386,336	69,873	8,825	465,036	△16,165	△190,698	258,172

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発に係る研究開発費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△190,698千円は、主に管理部門に係る人件費および経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インタラクティブ事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであるコンテンツについては、各資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては43,620千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月24日を払込期日とする第三者割当増資を実施し、第1四半期会計期間において資本金が88,265千円、資本準備金が88,264千円増加しました。主にこの要因により当第2四半期会計期間末において資本金が874,251千円、資本剰余金が817,890千円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。